



株式会社 F Cホールディングス

6542 東証スタンダード

# 2025年6月期 第1四半期決算

## 補足説明資料

基本は技術

# 1.第1四半期決算報告① 受注・売上高

受注量は減少（前々期の水準） / 売上高は前期超え

- ◆受注量は前期に複数年工期契約分が含まれている影響で減少し、前々期と同等水準となった（期首計画どおり）
- ◆国内分野は期首計画どおりに推移 ⇒ 売上高も計画どおりに推移
- ◆海外分野は前期に複数年工期契約があるとはいえ期中は伸び悩み⇒新規受注活動を強化中
- ◆事業分野別の売上高に大きな変動はない

【受注・売上・繰越】		FY2024 第1四半期 (百万円)	FY2025 第1四半期 (百万円)	増減 (百万円)
国内	受注高 (期中受注)	1,867	1,636	△230
	売上高	1,593	1,702	109
	繰越残高	4,855	4,577	△278
海外	受注高 (期中受注)	329	46	△282
	売上高	150	120	△29
	繰越残高	1,069	855	△213

【分野別売上高】	FY2024 第1四半期 (百万円)	FY2025 第1四半期 (百万円)
社会インフラ、 防災	858	883
環境、都市・ 地域創生	313	324
モビリティ形成	571	614
合 計	1,743	1,822

# 1.第1四半期決算報告② PL

売上高+4.5%、経常利益+63.8%、純利益+157.1%

- ◆売上高、各段階利益は前年同期を上回る実績
- ◆生産性向上施策（DX推進等）が寄与

	FY2024 第1四半期 (百万円)	FY2025 第1四半期 (百万円)	増減	
			(百万円)	(%)
総受注高（繰越含む）	7,668	7,255	△412	△5.4
（2Q以降への繰越残高）	5,924	5,432	△491	△8.3
売上高	1,743	1,822	79	4.5
営業利益	105	172	66	63.5
経常利益	105	173	67	63.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	41	106	65	157.1

※本表では表示桁未満の端数調整があります

# 1. 第1四半期決算報告③ BS

良好な財務水準を維持して期首計画どおりに推移

(単位：百万円)

科 目	FY2024 (第1四半期末)	FY2024 期末	FY2025 (第1四半期末)	対 前期末比
<b>資産の部</b>	<b>9,464</b>	<b>9,284</b>	<b>9,833</b>	<b>548</b>
流動資産	4,309	4,274	4,869	594
現金及び預金	1,384	1,723	1,570	△152
その他	2,924	2,551	3,298	747
固定資産	5,155	5,009	4,964	△45
<b>負債の部</b>	<b>2,706</b>	<b>1,755</b>	<b>2,450</b>	<b>695</b>
流動負債	2,429	1,465	2,191	726
短期借入金	1,350	—	900	900
その他	1,079	1,465	1,291	△173
固定負債	277	289	258	△31
長期借入金	—	142	(注) 142	—
その他	277	147	116	△31
<b>純資産の部</b>	<b>6,757</b>	<b>7,529</b>	<b>7,382</b>	<b>△146</b>
資本金	400	400	400	-
その他剰余金	6,357	7,129	6,982	△146
<b>総 資 産</b>	<b>9,464</b>	<b>9,284</b>	<b>9,833</b>	<b>548</b>

流動比率222.2%

FY2024 (第1四半期末)	FY2024 期末	FY2025 (第1四半期末)
177.4%	291.7%	222.2%

固定比率67.2%

FY2024 (第1四半期末)	FY2024 期末	FY2025 (第1四半期末)
76.3%	66.5%	67.2%

自己資本比率75.1%

FY2024 (第1四半期末)	FY2024 期末	FY2025 (第1四半期末)
71.4%	81.1%	75.1%

(注) 従業員持株会支援信託ESOP導入に伴う信託口に対する債務保証額142百万円 (連結財規)

# 1. 第1四半期決算報告④ CF

## 計画どおりのキャッシュ・フロー状況

- ◆ 営業CF：売上高増加に伴う債権の増加あり。契約工期到来業務（ほとんどは3月末工期）の債権回収は例年どおり4月の計画
- ◆ 投資CF：パソコン、ソフトウェア等の有形・無形固定資産の取得
- ◆ 財務CF：営業CF相当額の運転資金調達（短期）による増加

(単位：百万円)

	FY2024 第1四半期	FY2024 期末	FY2025 第1四半期	対前期末 増減
営業キャッシュ・フロー	△732	717	△837	△1,554
投資キャッシュ・フロー	△55	36	△25	△61
財務キャッシュ・フロー	542	△661	709	1,370
現金及び現金同等物の増減額	△245	93	△152	△246
現金及び現金同等物の期末残高	1,384	1,723	1,570	△152

# 2. 期末業績予想

## 期首計画に変更はない

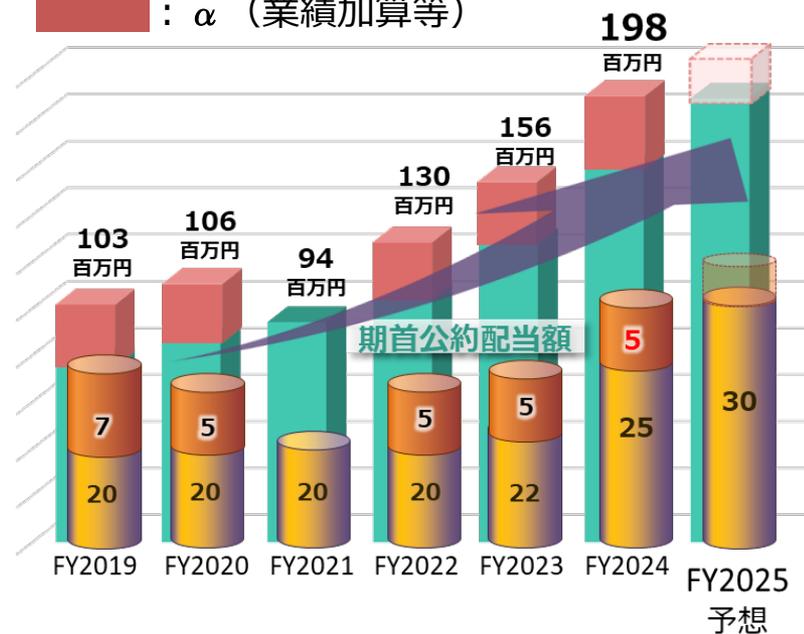
- ◆ 発注時期の遅れも回復傾向が見られることから期首計画に変更はない
- ◆ 前期は子会社に対する「のれん」の減損評価が生じたが、既に「のれん」残高はゼロ

(単位：百万円)

	FY2024 実績	FY2025 計画	対前期増減	
売上高	8,526	8,800	+273	+3.2%
営業利益	1,135	1,200	+64	+5.7%
経常利益	1,135	1,200	+64	+5.7%
当期純利益	670	850	+179	+26.7%
営業利益率	13.3%	13.6%	—	+0.3%
1株配当金	30.0 (25+5)	30.0	期首25円⇒30円	

### ◆ 配当金の推移

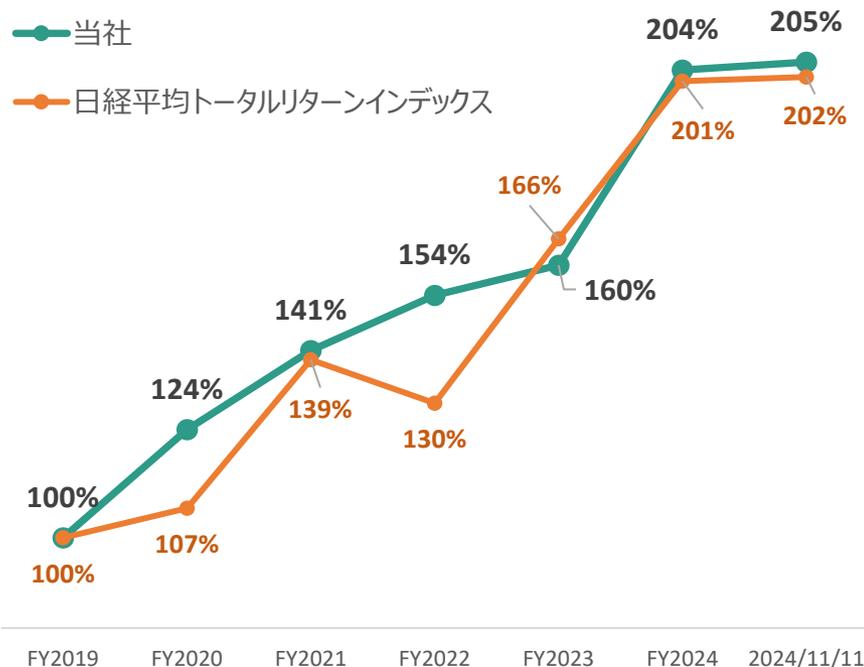
- : 配当金 (期首公約)
- : 1株あたり配当金 (円)
- : α (業績加算等)



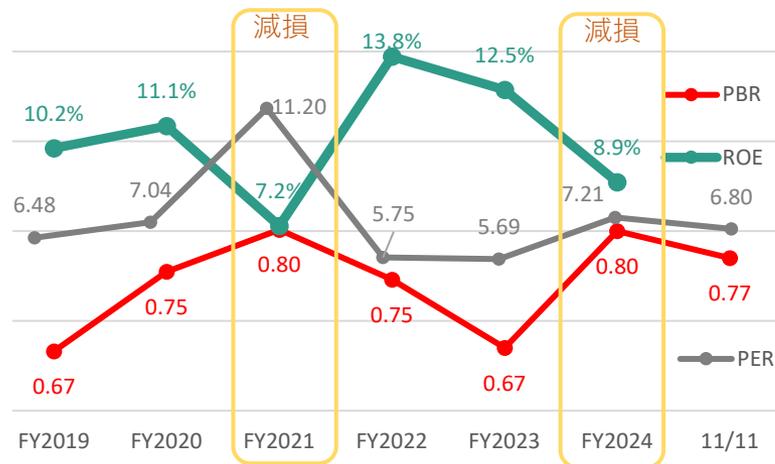
# 3. 株式関連① 収益性と資本コスト指標

- ◆TSR(株主総利回り)はベンチマーク指標 (N225TR) 水準で推移中
- ◆PBRは依然として1倍割れ
- ◆ROEは「のれん」の減損年次 (2021年と2024年) 以外は10%を超過
- ◆総資産の90%以上を生産活動に使用中

## 株主総利回り (TSR)



## PBR・PER



## 資本コストの諸元

	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024
売上高純利益率	6.2%	11.6%	4.5%	9.1%	9.5%	7.9%
総資産回転率	1.2回	0.8回	0.9回	1.0回	1.0回	1.0回
財務レバレッジ	1.37	1.91	1.80	1.48	1.32	1.23
<b>ROE</b>	<b>10.2%</b>	<b>17.7%</b>	<b>7.1%</b>	<b>12.9%</b>	<b>11.8%</b>	<b>8.9%</b>

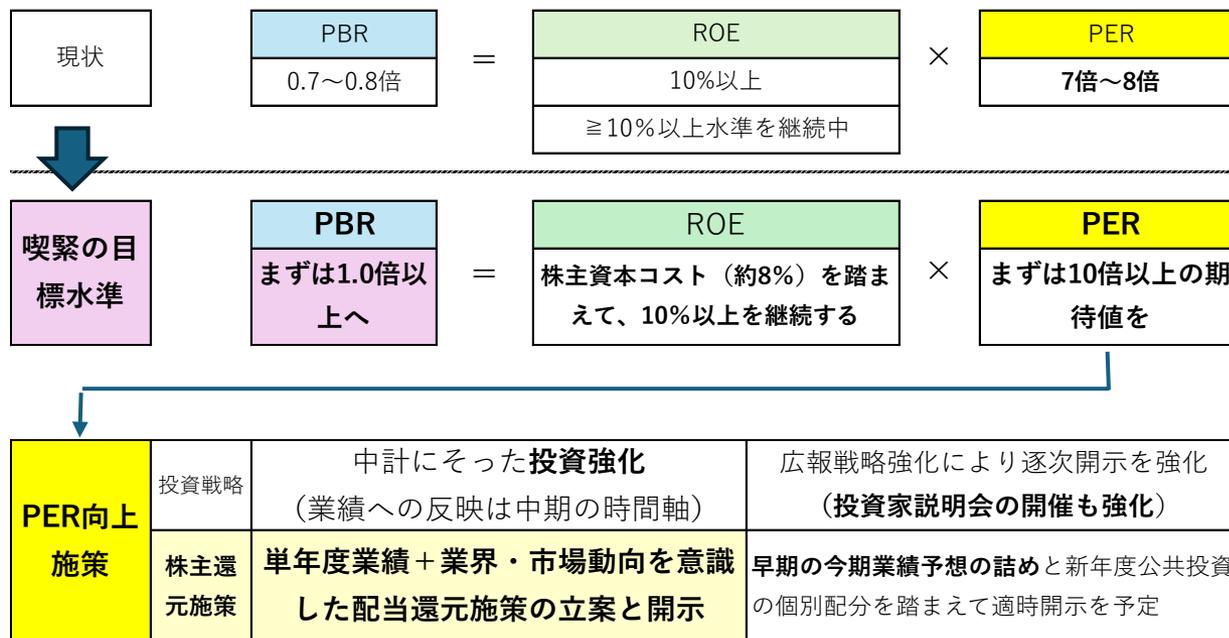
# 3. 株式関連② 株主還元

- ◆ 堅調な公共投資市場環境は当面継続すると見込まれる
- ◆ ROE10%以上の継続達成を前提に、資本コストや株価を意識した株主還元施策を検討中 ⇒ 喫緊の株価目標水準はPBR1倍以上
- ◆ 期首公約配当は前期実績水準の30円でスタート（期首計画で5円増）

◆ 目標指標  
(成長性・効率性)

売上高成長率	5%/年平均
営業利益率	10%以上
ROE	10%以上
売上高・研究開発費率	5%以上
株主総利回り	中長期的な向上

◆ PBR向上施策  
(2024年2月のIR説明会にて開示済)



# 参考① 中期経営計画 前半3年間のキーワードは「再定義」

第5次中期経営計画 2022年7月～2028年6月 (前半3年間：～2025年6月まで)

Redefinition 「再定義」 (前半3期のキーワード)

Strong Culture  
「基本は技術」

経営理念

新しい価値の創造により**社会の持続的発展**に貢献します

Mission

目指す姿

1. 我々は高い技術力を基本とした事業活動で**顧客満足**を達成します
2. 上質な顧客価値の創造により**利益**を生み社会と株主に対する責任を果たします
3. 全従業員が仕事に誇りをもち仕事を通じて**人間的成長と幸福**を達成します

Vision

行動指針

1. 多様な分野の専門技術と連携し社会課題の解決に向けて**挑戦**を続ける
2. 健全で透明性の高い**誠実な経営**を持続する

Rule

Founder's Consultants Holdings Inc.

FCホールディングス

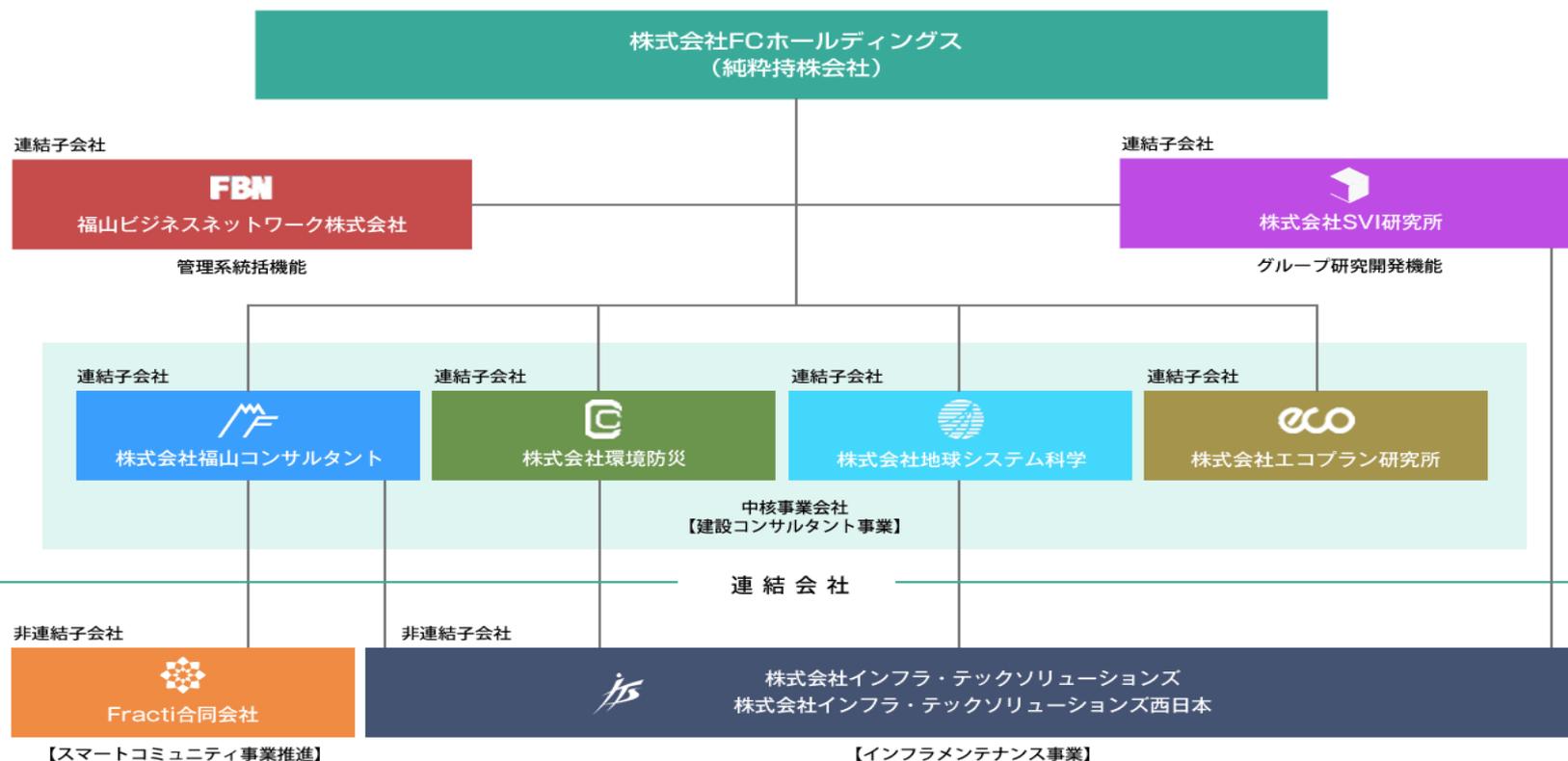
新しい価値を創造する専門家集団

2025年に上場30年目を迎える集団として、企業理念にそって、組織、ひと、働き方、事業、戦略全般の「再定義」をすすめて100年企業へ進化する

# 参考②：企業集団の状況

- 純粋持株会社として傘下に9社（連結6社）の事業会社を持つ企業集団
- 国内主要9拠点、全35事業場（海外含む）で展開中

- ◇ 設立：2017年1月4日（1949年3月創業：75周年）
- ◇ 資本金：4億円 ◇ 従業員数：グループ正社員413名（他契約社員120名）
- ◇ 有資格者数（延べ人数）：博士20名、技術士209名、シビルコンサルティングマネージャ96名 他
- ◇ 事業内容：建設コンサルタント業を中核事業とするグループ会社の経営管理・新規事業開発・外部連携等
- ◇ 委員会：監査等委員会、指名/報酬諮問委員会（任意）



本資料は決算短信の補足説明です。

新たな技術や取り組み等につきましては弊社HPを参照ください。

◆ **第2四半期決算は2025年2月13日の開示予定です。**

同日に（公社）日本証券アナリスト協会において決算説明会を予定しています。

◆ **別途に複数回のIR説明会の開催を計画しています。詳細が決まりましたらHP等で広報いたします。**

「基本は技術」を企業集団の「Strong Culture」として、

人々の安全と安心を守り

社会的価値の高い企業体として持続的成長を図ってまいります。

引き続き、倍旧のご支援をよろしくお願い申し上げます。



株式会社 FCホールディングス



広報部長 フランジョイス since1996